

令和6年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅱ 外国人の子供の就学促進事業)
事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【東近江市】				
令和6年度に実施した取組の内容及び成果と課題				
<p>1. 事業の実施体制</p> <p>○「東近江市プレスクール」の実施</p> <p>実施回数…プレスクール説明会・体験会1回、プレスクール 11 回</p> <p>開催時間…午後2時から午後4時まで (2月1日のみ午前9時 30 分から午前 11 時 30 分まで)</p> <p>会 場…東近江市勤労者総合福祉センターウェルネス八日市を会場にして実施する。</p> <p>指 導 者…10名(毎回5名程度が指導に当たる)</p> <p>指導内容…小学校1年生の初めの国語科、算数科の学習内容及び学校生活に関すること</p> <p>相 談 会…外国人未就学児とその保護者向けに就学に関する相談会を開催した。</p>				
<p>2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること</p> <p>○「東近江市プレスクール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日…12月14日、12月21日、1月18日、1月25日、2月1日、2月17日、2月24日、 3月2日、3月9日、3月16日、3月23日 ※説明会・体験会を12月7日に実施 ・学校生活に関する活動…始業の挨拶、時間割、教室、給食、そうじ、教科、持ち物等について知る活動 ・国語科の活動…絵本の読み語り、語彙を増やす活動、短文を読む練習、運筆練習、平仮名を書く練習 ・算数科の活動…数字の読み書き、答えが10までの足し算を習得する活動、10になる数を見つける活動 ・その他の活動…折紙、節分の豆まき、ひな人形の工作、ボール投げ等 ・参加したのは8名となった。 ・プレスクールの指導では、小学校生活が円滑に送ることができるよう鉛筆の持ち方や平仮名の読み書きといった国語科の内容の他、学校生活についての知識、算数科の足し算等に取り組んだ。 <p>○就学に関する相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校について、外国人未就学児とその保護者に説明をして質問等を受け付ける。 				
<p>3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること</p> <p>②プレスクールが2年目となり、より充実した指導を実施できた。その分、子どもたちに力がついたように感じる。</p> <p>・相談会では、保護者に小学校の教科書を見せてどのような学習をするのか知ってもらった。また、持ち物や学校の行事等についても説明を行い、子どもが小学校に通うに当たって気をつけてほしいことについて理解を深めてもらった。</p> <p>・保護者にアンケートを実施して、日本での子育てについて困ったことを聞いた。日本に長く住んでいて日本語が話せても、外国人として子どもが見られて人間関係等で困ることがないか心配しているなど、今後の取組に生かせる貴重な意見をいただいた。</p>				
	3～6歳	7～12歳	13～15 歳	16～18 歳以上 (過年齢)
本事業で対応した子供の数	18人	人	人	人
<p>4. その他(今後の取組等)</p> <p>・プレスクールの企画運営を幼児教育や日本語指導のノウハウがある方にさせていただくため、来年度は委託することとなった。より効果的な事業になるように委託先と連絡を密にしてプレスクールを実施したい。</p>				

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き文部科学省ホームページで公開する。